



平成 17 年度「37 回北海ソーラン祭り」入り込み結果

時間	9 ~ 10	10 ~ 11	11 ~ 12	12 ~ 13	13 ~ 14	14 ~ 15	15 ~ 16	16 ~ 17	17 ~	合計(子供含まず)
2日 土	10	26	22	27	37	21	7	17	8	175
3日 日	26	25	18	19	30	24	53	15	4	214

多かった質問内容

イベント会場が分散している事を知らずに漠然とお祭り会場はどこか、いわゆるお祭りのでみせを期待して、屋台は何処に行けばあるのか、といった質問を多く受けました。また、ソーラン節が町の中に流れている事から屋台が午前中からやっていると場所を尋ねる方もたくさん来ました。(名店街おもてなしコーナー 14:00~)

3日はニッカフェスティバルが終わった後の3時から4時の間に**53人**の入り込みがあり、質問の多くは若いカップルからの花火会場についてのものでした。
じゃらん7月号「花火大会特集」の影響が大きいと思われます。

反省点・いただいた意見

途切れることなくお客様の出入りがあったため、スタッフ1人では全ての人にインフォ出来なかった。
本州からのお客様から、メディアを通してイベントをPRするなら、はじめてその地を訪れた人でもイベント会場までたどり着ける案内板や看板を町の中に数箇所設置すべきだ。北海道は特にその点に配慮が足りない。この様な指摘がありました。

i センタースタッフ研修会報告

日時：6月29日、30日

場所：余市町 ホテル水明閣 余市 i センター

全12のiセンター、古平町、寿都町、京極町の方々が集まり「しりべしiネットの入力フォームの全般と各機能の講習」をテーマにパソコンを操作し実践を兼ねた練習方法で行われました。2日目の後半は余市iセンターの視察が行われました。スタッフ間の日誌による情報共有、次年度に向けての入り込み数のデータベース化、20市町村のパンフレットを常時揃えている事、ブログ開設など余市iセンターでの工夫の説明や、質疑応答が行われ、参加者からは運営方法について参考になったという声が聞かれました。



しりべし交流 i ネットカフェ開催

7月9日、10日に行われた第5回「よいちワイワイ!市場」にて、センターのログハウス風外観に合わせたイメージでオープンカフェが同時開催されました。コーヒー、シフォンケーキ、余市産果物ジュースが提供され、2日間合わせての売り上げは4万3千円になりました。

イベント会場として使われない場所を有効利用しようという実験的なものでしたが、2日間とも盛況でした。

センター入込み：9日115名、10日132名(子供含まず)



情報発信と集約、観光客が求める情報内容

ホワイトボードによる情報提示

センターではホワイトボードにスタッフが独自のルートで調べた情報を書き出し、通行しているお客様の目にも留まりやすいようにセンターの外に置いています。

「ウニが旬」と書いた場合その次に、ではそのウニはどこに行けば**食べられるのか**という事が観光案内をする上での重要な情報となってきます。どこに行けば**買えるのか**という質問はめったにありません。現状では、人づて、新聞の折り込みチラシ、実際に食べに行くなどして情報を集めていますが、それにも限界があり、そうして得た情報の中でのみ案内せざるをえず、限られたお店の紹介となってしまいます。

-----その対応策として-----

余市で食事といえば海鮮類ですが、今の時期は、具体的にウニ丼を食べられる場所について聞かれることがほとんどです。把握していないお店については、食事処として誘導し、紹介するお店に偏りが無いように心がけています。

道すがらホワイトボードを読み、急遽iセンターに情報を求めてくるパターンも多々見られます。**ボードによる情報提供の効果がこれほどまで大きいことに驚いています。**

果物狩り情報提供

7月10日前後より本格的にサクランボ狩りが出来る様になりました。よほどの雨でない限り毎日必ずと言っていいほどサクランボ狩りの問合せがあります。

観光農園さんとは毎年お互いにコンタクトがあるのですが、センターの開設が夏期間のみという事で、電話回線を引かずに使用額上限のあるプリペイドカード携帯電話を使っただけの情報収集を行っています。そのためこちらからの情報集めには限度があり、また農繁期という事もあり農園さんからの細かな連絡もいただきにくいという事情から、詳細についての確認はお客様のほうでしていただいています。

このような状況ですが、お客様により満足していただけるインフォとはどういうものが模索しながらスタッフ一同業務に励んでいます。

仁木iセンターオープン

余市iセンターでも仁木の果物狩りの情報を求められる事があります。仁木町は観光農園さんの体制が整っているため、広域観光案内のiセンターとしては他市町村の有用な情報をセンタースタッフ間で共有出来るのは大変心強いです。

7月7日 仁木iセンターが
フルーツパークにき内にオープンしました

しりべしiネット <http://www.shiribeshi-i.net/>

余市iセンター

メール qq889mc9k@almond.ocn.ne.jp

電話 080-5582-2606

余市町商工観光課

電話 0135-21-2125